

Taste of Tsukuba 2021

Categories



Days of Bike and Roses 1&2 (D.O.B.A.R.-1&2)

主に1980年までに生産されたモーターサイクルを中心としたレース。車両は指定されており、排気量によって1と2にクラス分けがなされている。また、当時の雰囲気を残すため、改造範囲もより細かに設定されている。こだわりの名車が疾走する姿を目に焼き付けよう!



D.O.B.A.R. MONSTER

主に1982年までに生産された、空冷4サイクル3~6気筒750cc以上、リアサスペンション2本仕様のモーターサイクルを中心としたレース。大会のメインクラスと言っても過言ではない参加台数を誇る。カワサキZシリーズを筆頭にCB、KATANAなどコアな名車が勢揃いしており、そのレースは迫力満点。



D.O.B.A.R. MONSTER Evolution / SUPER MONSTER Evolution

"Evolution"の名通り、MONSTERクラスの進化系に位置するこのクラス。参加車種は同様だが、改造範囲が上位クラスになるほど緩和されている。当時のマシンと最新技術が融合し、フルカスタムされたマシンたち。その走りは、もはや30年以上前のバイクではない!



D.O.B.A.R. ZERO-1&2

主に1980年代までに生産された鉄フレームマシンのクラスで、「ZERO」と名の付くクラスは空冷・水冷の制限がない。排気量によって1と2にクラス分けされている。ストロークマシンの参加が多く、オイルの焼ける匂いとチャンバーからの白煙がサーキットを包む。



D.O.B.A.R. ZERO-3&4

車両規定はほぼZERO-1&2と同じだが、こちらの2クラスは鉄フレームという縛りが外されている。そのため、参戦車両は往年のレーサーレプリカが多いという特徴を持つ。フルカウルのマシンたちが駆け巡るレースを観て、"あの"時代を思い出す人も多いのではないだろうか。



D.O.B.A.R. FORMULA-ZERO

鉄フレーム3~6気筒750cc以上のモーターサイクル、という広い範囲の車種が参加できるクラスで、ZEROシリーズでは最速を誇る。そのタイムはレコードでなんと1分を切ってしまうほど。年式の縛りもなく最新車両も参加できるが、かといって一筋縄ではいかないのがT.O.Tの面白いところ。



D.O.B.A.R. HERCULES

T.O.Tのリベラリズムを最大限に尊重し設定された、事実上の最速クラス。車両規定は当然最も制限が少なく、鉄フレームであること、そしてあくまでT.O.Tらしいスタイル。T.O.Tを制しても尚留まるところを知らないもの達へ用意された、いわば英雄の座だ!



GREAT Hero's

主に1970年代を中心としたレーサー車両の参戦するクラス。伝説の市販レーサー、ワークスレーサーが時を超え、現代の筑波サーキットに復活!当クラスはマシンの体力を考え、オリンピック・サッカーワールドカップイヤーに合わせて、2年に一度開催される。

For more Information

<https://www.tsukuba-circuit.jp/>

一般財団法人日本オートスポーツセンター（JASC）筑波サーキット
〒304-0824 茨城県下妻市村岡乙159
TEL:0296-44-3146 FAX:0296-43-1115

